

■ 著者紹介

松尾 弘 (まつお ひろし)

序, 第1章, 第3章, 第5章 執筆

略歴

1962年生まれ。慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了, 一橋大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。現在, 慶應義塾大学大学院法務研究科教授。

主要業績

『開発法学の基礎理論—良い統治のための法律学』(勁草書房, 2012年)

『ヘルムート・コーイング 法解釈学入門』(慶應義塾大学出版会, 2016年)

『土地所有を考える—所有者不明土地立法の理解を深めるために』(日本評論社, 2023年)

『民法』(慶應義塾大学出版会, 2023年)

『物権変動における第三者保護の法理—権利変動論の展開』(慶應義塾大学出版会, 2025年)

松井 和彦 (まつい かずひこ)

第2章 執筆

略歴

1970年生まれ。一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了。現在, 大阪大学大学院高等司法研究科教授。

主要業績

『契約の危殆化と債務不履行』(有斐閣, 2013年)

『LEGAL QUEST 民法IV 契約』(有斐閣, 2021年, 共著)

『判例プラクティス民法II 債権〔第2版〕』(信山社, 2023年, 共編)

『契約法〔第2版〕』(日本評論社, 2024年, 共著)

古積健三郎 (こづみ けんざぶろう)

第4章 執筆

略歴

1965年生まれ。京都大学大学院法学研究科修士課程民刑事法専攻修了, 同研究科博士後期課程民刑事法専攻単位取得退学。現在, 中央大学大学院法務研究科教授。

主要業績

『換価権としての抵当権』(弘文堂, 2013年)

『担保物権法』(弘文堂, 2020年)

『実戦演習民法—予備試験問題を素材にして』(弘文堂, 2021年)

『入会林野と所有者不明土地問題—両者の峻別と現代の入会権論』(岩波書店, 2023年, 共編著)

『法人格のない団体の権利主体性』(弘文堂, 2023年)

原田 昌和（はらだ まさかず）**第6章 執筆****略歴**

1972年生まれ。京都大学大学院法学研究科修士課程民刑事法専攻修了，同研究科博士後期課程民刑事法専攻単位取得退学。現在，立教大学法学部教授。

**主要
業績**

『リーガル・リサーチ&レポート〔第2版〕』（有斐閣，2019年，共著）

『日評ベーシック・シリーズ 民法総則〔第2版〕』（日本評論社，2022年，共著）

『START UP シリーズ民法①総則 判例30！〔第2版〕』（有斐閣，2025年，共著）

『LEGAL QUEST 民法Ⅰ 総則〔第2版補訂版〕』（有斐閣，2020年，共著）

「消滅時効の正当化根拠について一起算点および時効期間を中心に（明治民法制定まで）」立教法学111号（2024年）